

モッコの物語 | しあわせはこぶ旅 モッコが 復興を歩む東北から TOKYO へ



沢則行さんによるデザイン

又吉直樹 作

- おおきなおとが きこえています
はなびのような、カミナリのような、こうじのような、おおきなおと
- まどをあけてみると まっしろいゆきのせかいに
モッコのあしおとが ひびいているのでした
- とてもおおきなモッコが しろいきをはきながら
ゆきのまちを あるいていきます
- モッコのあしおとにあわせて
ダンサーたちが ふしぎなおどりをおどっています
- モッコもまねしておどりますが
うごきが きみょうでみんながわらっています

●モッコのあしおとにあわせて
バンドがたのしそうにえんそうしています

●モッコもおんがくにあわせて
うたいますが かなりおんちでこまります

●モッコが川をとびこえると
おおきなあしおとといっしょに つよいかぜがふきます

●モッコのあしもとに「しんくう」ができて
くろいあなから いろいろなものがみえました

●ほし、つき、おはな、おもち、らくだ、らくごか、くつはくときにつかうぼ
う、
ラッパー、おおものよこにいるつうやくさん、ポッケにずっとあったふるい
あめ、
あなたにはなにが見えますか

●「べんがろん ぐいっじいな ぞぼいぞぼい！」
モッコのおなかのおとです

●「ずどずど ねででででえー！」
モッコのあくびです

●モッコは しあわせをはこぶためにあるきつづけます
モッコは にんげんのがことが だいすきです

●モッコが つりびとがさかなをつれたか
いわかげからのぞいています

●モッコがこどもたちとのサッカーでキーパーをしています

●モッコが献血しています

●モッコがコンビニのまえでヤンキーたちと
たむろしています

●モッコがキャッチセールスにつかまった
おんなのこをたすけようとしています

●おもいにもつをせおった たいへんそうなおばあさん
モッコは おばあさんごと てのひらにのせました

●だけど おばあさんは にもつをせおったままだから
おもさはあまり かわりません

●モッコは おっちょこちょいです
だけど なぜか おばあさんは えがおです

●モッコはいねかりをてつだいます
だけど しゅうかくしたより たくさんたべます

●「べべべんべべべべ ずぐずぐべろーん！」
モッコのあくびです

●「みゃんが みゃん が」
モッコのねごとです

●いまにもたおれそうなおおきな木があって みんなが意見をいいます
「きったほうがいい」「ささえよう」「こんなもんはほっとけ」「どこかにう
りとばそう」
意見はバラバラですが なんとかしたいというきもちはおなじです

●モッコはたおれそうなおおきな木をひっこぬき そらになげました
おおきな木は宇宙までとんで ながれぼしになりました
そのながれぼしに みんながねがいごとをいいます

●「イルカとおよぎたい」「すべてのまんがをよみたい」「あくびのかおをみ

られたくない」「かぞくにあいたい」「あらそいをなくしたい」「みんながわ
らえるせかいがみたい」「ウインクがうまくなりたいたい」「れいぞうこのあまり
ものでなにかおいしいものをつくりたい」

ねがいはバラバラですが あしたをよくしたいというきもちはおなじです

●こどもたちが モッコとなかよくなりました
モッコはようしゃなくすもうでぜんいんたおします

●つぎのまちまであるくあいだ
モッコがこどもたちのはなしをきいてくれます

●うちゅうのはなし、はつこいのはなし、おかあさんのはなし、
えんぴつのうしろについている けしゴムのはなし

●わかれをおしんだ こどもたちがいいました
「ぼくたちのまちでいっしょにくらそ」

●モッコはあるきつづけます
「ちがーけしぎがみっちいから いろんなえがおがみっちいから あるぎつづ
けんだ
できっごどしがしねえし すきなようにやるしかねえべ」
そんなことをかんがえながら

●でも モッコは ひゃくねんくらいとまっていることもあります
そのへんはあいまいなのです

●こどもたちが なきました
「はなれたくねえ」となきました

●「みんなもモッコのおもいでは えいえんにみんなもモッコだけのもんだ
とおぐはなっちゃどしても みんながモッコをおもいだすとき
モッコは みんなだけのもんだ」
モッコはやさしいこえで いいました

●「なにってんだ？」というかおをしている男の子
そんなことより 「モッコって、はなせんだ」とおどろく女の子
とにかく、みんなとモッコは ともだちです

●あっ そうだ さけぼう
「うおお～！！！！」
大きなモッコがさげびます みんなのために

●わかれた恋人どうしがモッコをみます けんかしていたひとたちがモッコを
みます
みんなにみられたモッコは おおきなめであしたをみています
モッコはみんなをつないでるきます

●そのとき だれかがだれかをすきになり だれかがゆめをおいはじめ
だれかがじんせいをおえようとして だれかのいえにあらたないのちがうまれ
だれかがおおごえで わらいました

●モッコはあるきつづけます
ゆきがとけて はながさきはじめたまちを
モッコは あるきつづけます

終わり